

まちづくりシンポジウム 生活文化創造都市フォーラム「八戸地域会議」 「本のまち八戸」の推進

日時：令和7年1月23日（木）14:00～16:30

会場：八戸ポータルミュージアム「はっち」1Fはっちひろば

主催：一般財団法人日本ファッション協会

共催：八戸市、八戸商工会議所

後援：日本商工会議所

入場
無料

（撮影：高橋宗正）

「本とまちづくり」について話をしよう！

基調講演「世界の創造都市と八戸市の可能性」



佐々木 雅幸氏

（ささき まさゆき）

創造都市ネットワーク日本 顧問
大阪市立大学名誉教授

1980年より、大阪経済法科大学、金沢大学、立命館大学、大阪市立大学、同志社大学で教授を勤め、現在は同志社大学嘱託研究員、大阪市立大学名誉教授、大阪公立大学都市科学・防災研究センター客員教授。

創造都市研究の日本とアジアにおける第一人者。創造都市ネットワーク日本の顧問として、ユネスコや全国各地の創造都市の取組みを支援。主な著書に「創造都市の経済学」、「創造都市への挑戦」など。

パネルディスカッション「本のまち八戸」の推進

◆コーディネーター



野田 邦弘氏

（のだ くにひろ）

横浜市立大学大学院
都市社会文化研究科客員教授
東京大学まちづくり大学院非常勤講師
茅ヶ崎市文化生涯学習プラン推進委員長

2004年まで横浜市職員として主に文化行政に携わる。2003年には横浜関内地区再生に向けた都市政策「クリエイティブシティ・ヨコハマ」の策定を担当。翌年新設された文化芸術都市創造事業本部創造都市推進課の初代担当課長に就任し、横浜トリエンナーレ2005を担当した。2005年鳥取大学地域学部教授に就任。2021年より現職。文化経済学会（日本）顧問、茅ヶ崎市ユネスコ創造都市加盟申請アドバイザー。著書は『アートがひらく地域のこれから—クリエイティブシティを生かす社会へ』（共著）、『文化政策の展開』『創造都市横浜の戦略』『イベント創造の時代』など。

◆パネリスト



明石 英嗣氏

（あかし えいじ）

公益財団法人 吉備路文学館館長
文学創造都市おかやま推進会議委員

1962年山口県下関市生まれ。1986年、早稲田大学教育学部教育学科社会教育学専修卒業後、中國銀行に入行。詫間支店長、北備ブロック長兼総社支店長などを歴任して2015年公益財団法人吉備路文学館常務理事館長に就任。主な公職に岡山県博物館協議会 監事、内田百閒文学賞 運営委員など。



岩崎 武史氏

（いわさき たけし）

鳥取県立図書館 資料課 課長

1978年佐賀県生まれ。2004年5月、司書職として鳥取県入庁。智頭農林高等学校、鳥取東高等学校で勤務後、2012年4月に県立図書館へ異動。情報相談課図書担当・同相談担当、支援協力課くらし産業支援担当・同市町村担当を経て現在。書籍・雑誌購入業務の総括のほか、図書館システムやデジタルアーカイブシステムを担当。



音喜多 信嗣氏

（おときた のぶつぐ）

八戸ブックセンター 所長

1994年4月、八戸市庁採用。八戸市職員として健康福祉部、経済部、総合政策部、農林水産部に配属後、2016年4月に中心市街地活性化及び八戸ブックセンターの開設を担当する、まちづくり文化スポーツ観光部まちづくり文化推進室に配属。2016年12月の八戸ブックセンター一開設と同時に所長となり現在に至る。

◆コメンテーター 佐々木 雅幸氏 創造都市ネットワーク日本 顧問

※出演者は予告なく、変更になる場合があります。ご了承ください。